

## 事例集の概要

- 今回取り上げた自治体の取組事例や「にも包括」構築支援事業で得られた情報をもとに「にも包括」の構築推進状況を5つのステップに整理しました。
- 5つのステップに取り組んだ要素を当てはめてみることで、自治体の現況が見えやすくなり、これから取り組むべき観点が見えてくると考えられます。ぜひご参照ください。

## 取組状況の整理

ステップ	ステップの概要と取組例
1 地域アセスメント	地域に関する各種情報を分析し、取り組むべき課題を明確化する
2 体制整備	庁内外の保健・医療・福祉関係者による本事業の実施体制を整備する
3 事業内容の決定	地域の関係者が協働し、地域課題の解決に向けて必要な事業内容を決定する
4 事業の実施	事業内容及び具体的な計画に基づき、関係機関等との役割分担や協働のもと事業を実施する
5 事業の評価	今年度実施した本事業の評価を行い、次年度取り組むべき課題及び解決策を明らかにする

### 事例 1

## 保健所とアドバイザーがタッグを組む！ 圏域での連携体制構築 ～岐阜県の実践事例～

### 概要

岐阜県では、モデル圏域ごとに、保健所が中心となって県密着アドバイザーと連携して「にも包括」の構築を進めている。地域課題をよく知る県密着アドバイザーを含めたチームを構成し、行政と地域が共に「にも包括」の構築推進していくことが重要である。

### ポイント！



- ① 県密着アドバイザーが各圏域の市町村支援のパートナーとして活躍
- ② 各圏域担当の県密着アドバイザー互いに地域課題への取組状況について情報共有することで、県全体の「にも包括」を推進

## 事例 2

### 「丁寧な説明」と「会議体の柔軟な運用」による各区 ・関係機関との連携体制構築 ～広島市の実践事例～

#### 概要

広島市では、8つの行政区での精神保健に関する現状や課題を集約の上、情報共有を行う場として「担当者会議」を実施し、市全体の現状や課題として整理することとしている。また、広島市の担当者が市内の精神科医療機関を訪れて市の取組について説明することで、医療機関と「にも包括」構築の意義を共有でき、顔の見える関係を構築している。

#### ポイント！



- ① 関係者への説明を丁寧に実施
- ② 必要であれば、会議体を設置し、フィードバックを得ながら柔軟に運用

## 事例 3

### 「にも包括」の構築と重層的支援体制整備事業の連携による 「まるごと」相談支援体制の整備 ～八王子市の実践事例～

#### 概要

八王子市は、障害者福祉課・保健所保健対策課主管による「にも包括」構築と、福祉政策課主管による重層的支援体制整備事業が連携し、精神保健福祉に関する相談と精神科医療との関係構築を進めることで、市内の社会資源同士の連携を円滑にし、市全体の相談支援体制を構築することを目指している。

#### ポイント！



- ① 精神科医療との連携推進
- ② 庁内の福祉部局と保健所の密な連携体制
- ③ どこに住んでいても支援を得られる地域づくり

## 事例 4

### 進め！「しきまるプロジェクト」 メンタルヘルスは健康増進の取組から！顔の見える協働による支 援体制の構築 ～志木市の実践事例～

#### 概要

志木市は、保健と福祉を中心とした精神保健に係る相談支援体制を構築しており、地区診断を通じて潜在的な精神保健の支援ニーズを収集しつつ地域保健を向上させる様々なプロジェクトを実施している。また、関係機関だけでなく、市民が助け合うつながりも構築している。

#### ポイント！



- ① 「しきまるプロジェクト」を通じた顔の見える関係の構築により、チームでの支援力を向上
- ② 保健活動を通じ「市民力」を発揮できる地域づくり